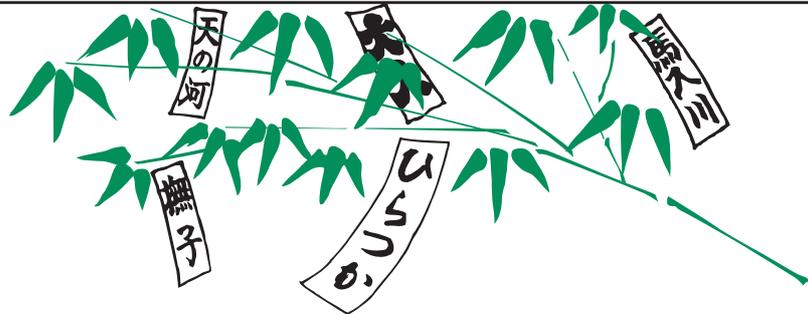




2012～2013年度 国際ロータリーテーマ
Peace through Service
「奉仕を通じて平和を」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ● 副会長 鳥海衡一 ● 幹事 清水雅広 ● 会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2861回 2012年10月4日 グランドホテル神奈中 週報第2861号

本日の卓話者ご紹介

米山記念奨学生
陳 家輝 (チン カキ) 様



卓話

テーマ：私の家族

自己紹介、学生時代・活動、家族紹介および現在の研究などについて、PowerPointを使用しながら楽しくお話を聞かせていただきました。

プロフィールにあります、大学院の研究内容について調べてみました。

『日本大学大学院 生物資源科学研究科 生物資源生産科学専攻』の教育研究上の目的とは？

博士前期課程は、植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、森林生産科学、生産環境工学の各分野から構成される生物資源生産科学に関する知識を教授する。また、生物生産に関わる事項について生物資源と生物環境の両面から総合的に捉え、生物資源を持続的、かつ有効に管理・活用するための研究指導を行ない、広い視野から問題点を把握し、応用力を発揮しうる人材の育成を目指す。

博士後期課程は、同前期課程で修得した知識や技術を総合し、生物資源生産に関わる各分野での基礎・応用研究をさらに発展させ、高度な問題解決能力と創造力に富んだ専門技術者と優れた研究能力を発揮できる専門的研

究者の育成を目指す。

さらに現在在籍中の、『海洋資源育成環境学研究室』について

<研究目標>

急激な人口増加に伴い、21世紀には地球規模で深刻な食糧危機に陥ることが予測されている。タンパク質資源の生産量を効果的に増大させるためには、これまで利用されていない海域における魚介類の増養殖などを積極的に進める必要がある。しかし、高い経済性や安全性を維持しながら持続的に増養殖を行うためには環境との調和が必要である。また、効率性の高い増養殖を行うには、養殖対象魚の環境適応性を解明する必要がある。さらに近年、環境保護意識の高まりにより、種の多様性維持の重要性が唱えられるようになり、地域固有の在来個体群の検出・把握・保護が急を要する状況下にある。

そこで当研究室では、微生物学、生態学、分子生物学、環境工学などの方法論や実験手法を用いて環境にやさしい増養殖システムの開発とその基礎研究、魚類の環境応答や地域固有の在来個体群の検出・把握に関する研究を行っている。

～日本大学ホームページより抜粋させていただきました～

卓話者プロフィール

氏名：陳 家輝 (チン カキ)

国籍：台湾

出身地：台中

所属ロータリークラブ：ふじさわ湘南クラブ

学校：日本大学湘南校舎 (藤沢市亀井野)

日本大学大学院・生物資源科学研究科・

生物資源生産科学専攻・博士後期課程3年

いままでの留学経歴について

- 2002年10月に東京都文京区のアジア文化協会にて日本語の勉強を始めました。
- 2004年4月に日本大学湘南校舎の生物資源科学部・海洋生物資源科学科に入学し、正式な留学生生活が始まりました。
- 2008年4月に日本大学大学院・生物資源科学研究科・生物資源生産科学専攻・修士課程に進学しました。

<出席報告>

本日10月4日	会員数 63名	対象者 57名	出席者 41(35)名	出席率 65.08%			
前々回 9月20日	会員数 63名	対象者 57名	出席者 46(43)名	出席率 76.67%	MUP 2名	計 48名	修正率 80.00%

- 2010年4月に日本大学大学院・生物資源科学研究科・生物資源生産科学専攻・博士課程に進学し、海洋資源育成環境学研究室に在籍しています。
- 2012年9月現在、来日して10年目になりました。



● 2012 学年度米山奨学生の状況

奨学金プログラム別人数

奨学金プログラム	人 数
学部課程	237人
修士課程	330人
博士課程	224人
地区奨励	16人
クラブ支援	9人
現地採用ほか	9人
休学による延長者	4人
合 計	825人

* 2012年 6月 1日現在

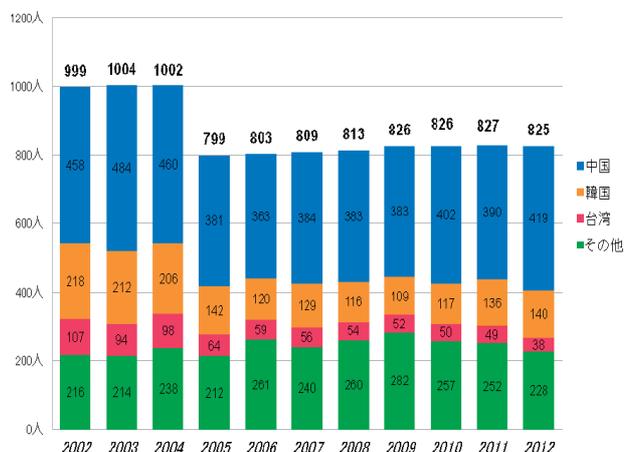
国籍・地域別人数

中国	419人
韓国	140人
ベトナム	70人
台湾	38人
タイ	各17人
ミャンマー	
マレーシア	16人
モンゴル	12人
ネパール	11人
インドネシア	各9人
バングラデシュ	
その他	67人
合 計	825人

* 2012年 6月 1日現在

国籍・地域別人数（年度別推移）

米山奨学生数の推移（2002～2012年）



国籍・地域別 学友数累計ランキング（2012年度を含む）

1	中国	5,299人
2	韓国	4,036人
3	台湾	3,321人
4	マレーシア	831人
5	ベトナム	590人
6	インドネシア	342人
7	バングラデシュ	290人
8	タイ	272人
9	スリランカ	239人
10	ネパール	172人
累 計		17,028人

— <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/> より抜粋—



<幹事報告>

◎地区大会「国際奉仕」展示コーナー設置の件

R財団が未来の夢計画に移行となる節目の年度に、各クラブの行っている活動を地区大会参加者に紹介する機会としてご活用ください。

展示日時：10/20（土）・21（日）

展示場所：鎌倉プリンスホテル

バンケットホール ロビー

展示枚数：各クラブ1枚

<メイクアップ>

2名

金谷浩史・宅野順彦 各会員

<ゲ ス ト>

陳 家輝様（卓話者）

米山記念奨学生

野村 勲様（平塚南RC）

米山奨学生へのお付添い

<ビ ジ タ ー>

0名

<本日のスマイル>

20名

<卓話・行事予定>

- 11月 8日（木） 地区財団補助金推進 委員長 草山弘道様（秦野中RC）
- 15日（木） 平塚商工会議所 会頭 福澤正人様（会員）
- 22日（木） 湘南NPOサポートセンター 事務局長 坂田美保子様
- 29日（木） 休会（定款による）
- 12月 6日（木） クラブ年次総会

<市内例会変更>

平塚西	11/7（水）⇒10（土）	移動夜間例会
	11/28（水）⇒30（金）	移動夜間例会